

「信愛つどいの広場」における子育て支援の実際

植山 克己・池田 可奈子・増田 咲子・山口 典子

Child Care Support in "Shinai Gathering Square"

SHIYAMA Katsumi, IKEDA Kanako, MASUDA Fukiho, YAMAGUCHI Noriko

In Kasumi city, "Kasumi child care plan" was formulated in 2000, "Kasumi child's welfare plan" was formulated in 2015. Since then the child-care support project has been carried out. This gathering square business is positioned as a local child care support base business.

In 2008 we established "Shinai gathering square" as a gathering space project and have participated in the area's childcare support in the "Top Library" on campus.

In 2009, "child care support in a childcare teacher training school", in 2011, "The reality of child care support activities at childcare training schools and the educational effects on students", in these dissertations, we examine the situation of child-rearing support conducted at "Shinai gathering square" and the educational effects and issues for students participating in it.

In addition, we discuss the current situation and problems of child care support projects in the statement gathering area from fiscal 2008 to fiscal 2014 as well as in the "Current situation and bases of community raising support project "Shinai Gathering Square" " in 2015.

Therefore, in this report we will report the current situation such as the implementation status and use-status of it for the next three years from 2015 to 2017, and the student participation status.

Key words: childcare support activities, gathering square, childcare worker training
キーワード：子育て支援、つどいの広場、保育者養成

1. はじめに

我が国の子育て支援政策においては、少子化等の課題も踏まえ、2000年に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、次世代の育成に国連への統合的な取り組みが始まり、各地町村においては、次世代育成支援行動計画が制定さ

れ、具体的な取り組みが開始されてきた。また、2013年に「子ども子育て新制度」が施行され、各地町村においては「子ども子育て支援事業計画」が策定し、その計画の順って子育て支援の取り組みが行われている。

久留米市においては2005年に「くまの子ども・子育てプラン」(久留米市次世代育成支援行動計画)、2011年に「くまの子どもたちの笑顔プラン」(久留米市子ども・子育て支援事業計画)が策定され、これに基づき子育て支援の事業が行われている。その中で地域子育て支援拠点事業としてつどいの広場事業が実施されている。本学においては、久留米市からの依頼を受け、2008年からつどいの広場事業として「児童つどいの広場」を開設し、学内の「おもちゃライブラリー」において地域の子育て支援に参画してきた。2009年に「保育者養成所における子育て支援活動の促進について」(報告・記録)、2011年に「保育者養成所における子育て支援活動の支援と学童への教育的効果」(施設・施設・報告)において「児童つどいの広場」で行った子育て支援の活動とそこに参画する学生への教育的効果、課題等について考察している。また、2014年に「地域子育て支援事業「児童つどいの広場」の現状と課題」(報告)において、2008年度年から2014年度までの児童つどいの広場における子育て支援事業の現状と課題について論じている。そこで本報告ではその後の2015年度から2018年度までの3年間における児童つどいの広場の活動状況並びに利用状況、学生の参加状況等の現状を報告する。

Ⅱ. 児童つどいの広場の実施状況

1. つどいの広場の開館状況および利用者の数

2015年度から2018年度(2月まで)の児童つどいの広場の開館日、実施者数の推移を表1に示す。

表1 「児童つどいの広場」開館数と実施者数

年度	2015	2016	2017	2018
実施回数(人)	3,587	3,789	2,833	2,228
開館回数(日)	133	136	133	128
1日平均(人)	27.0	27.8	21.3	17.5

実施者数については、2018年度は約2,000人の利用があったが2017年度からは3,000人

を下回っている。1日当たりの実施した回数の数も27回から20回以下に減少した。

年間開館日数の増加した子ども参加者数の推移(表2)では、4歳児以上はもともと参加者数も少ないが少し増強傾向にある。しかし3歳未満児の参加者数は2018年は減少傾向が続いている。特に1〜2歳児が大きく減少している。この要因として、昇園が原因が考え、育児休暇が満ちるとしては企業に復帰するため、保育所等の保育サービスを利用する割合が増えていることが考えられる。

表2 年齢別子どもの参加者数の推移(人)

年度	2015	2016	2017	2018
0歳	571	645	569	583
1歳	623	623	482	583
2歳	446	583	477	333
3歳	564	624	684	628
4歳	59	59	54	55
5歳	24	21	25	21
6歳	13	13	19	23
7歳以上	0	17	0	11
合計	2863	3275	2863	2249

2. 子育て支援活動の開催状況

子育て支援活動は、2008年度は10回開催し、2009年度以降年間12回の開催を計画してきた。2012年度までは、約8割の日に開催があり1ヶ月3回の開催がある年度があった。その開催回数への調査内容を参照する等広場を開設したことにより、2013年度以降は毎年計画通り12回の開催ができていた(表3、2018)。

内容については、前年度参加状況やアンケート結果を基に、主に親子で一組にする活動を重視することも目的とした活動を計画している。2013年度からは認定こども園を含めた久留米市の保育制度についての調査を実施していた。新制度のスタートから3年が経過し認定こども園が開始されるものと見られ、2018年度は制度についての調査をなくし、遊具および等の設備を測りしめる調査を精査している(表3〜6)。

表4 2016年度子育て支援講座実施状況

テーマ	参加人数
こども発達発達支援講座①	121人
こども発達発達支援講座②	121人
親子で楽しむ子育て講座	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法①	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法②	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法③	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法④	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑤	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑥	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑦	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑧	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑨	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑩	121人

表5 2017年度子育て支援講座実施状況

テーマ	参加人数
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法	121人
親子で楽しむ子育て講座	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法①	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法②	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法③	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法④	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑤	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑥	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑦	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑧	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑨	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑩	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑪	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑫	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑬	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑭	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑮	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑯	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑰	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑱	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑲	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法⑳	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉑	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉒	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉓	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉔	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉕	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉖	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉗	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉘	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉙	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉚	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉛	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉜	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉝	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉞	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㉟	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊱	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊲	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊳	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊴	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊵	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊶	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊷	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊸	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊹	121人
産後うつや育児不安への対処法、育児疲れやストレスの解消法㊺	121人

表6 2018年度子育て支援講座実施状況

テーマ	参加人数
産後うつや育児不安への対処法	61人
産後うつや育児不安への対処法①	61人
産後うつや育児不安への対処法②	61人
産後うつや育児不安への対処法③	61人
産後うつや育児不安への対処法④	61人
産後うつや育児不安への対処法⑤	61人
産後うつや育児不安への対処法⑥	61人
産後うつや育児不安への対処法⑦	61人
産後うつや育児不安への対処法⑧	61人
産後うつや育児不安への対処法⑨	61人
産後うつや育児不安への対処法⑩	61人
産後うつや育児不安への対処法⑪	61人
産後うつや育児不安への対処法⑫	61人
産後うつや育児不安への対処法⑬	61人
産後うつや育児不安への対処法⑭	61人
産後うつや育児不安への対処法⑮	61人
産後うつや育児不安への対処法⑯	61人
産後うつや育児不安への対処法⑰	61人
産後うつや育児不安への対処法⑱	61人
産後うつや育児不安への対処法⑲	61人
産後うつや育児不安への対処法⑳	61人
産後うつや育児不安への対処法㉑	61人
産後うつや育児不安への対処法㉒	61人
産後うつや育児不安への対処法㉓	61人
産後うつや育児不安への対処法㉔	61人
産後うつや育児不安への対処法㉕	61人
産後うつや育児不安への対処法㉖	61人
産後うつや育児不安への対処法㉗	61人
産後うつや育児不安への対処法㉘	61人
産後うつや育児不安への対処法㉙	61人
産後うつや育児不安への対処法㉚	61人
産後うつや育児不安への対処法㉛	61人
産後うつや育児不安への対処法㉜	61人
産後うつや育児不安への対処法㉝	61人
産後うつや育児不安への対処法㉞	61人
産後うつや育児不安への対処法㉟	61人
産後うつや育児不安への対処法㊱	61人
産後うつや育児不安への対処法㊲	61人
産後うつや育児不安への対処法㊳	61人
産後うつや育児不安への対処法㊴	61人
産後うつや育児不安への対処法㊵	61人
産後うつや育児不安への対処法㊶	61人
産後うつや育児不安への対処法㊷	61人
産後うつや育児不安への対処法㊸	61人
産後うつや育児不安への対処法㊹	61人
産後うつや育児不安への対処法㊺	61人
産後うつや育児不安への対処法㊻	61人
産後うつや育児不安への対処法㊼	61人
産後うつや育児不安への対処法㊽	61人
産後うつや育児不安への対処法㊾	61人
産後うつや育児不安への対処法㊿	61人

また、2016年度に開始した講座受講者へのアンケートで今後の講座内容の希望に関する項目では下記表での分析設計結果が示してある。

表7 子育て支援講座の希望する内容

内容	2015	2016	2017	2018	合計
1 産後うつや育児不安への対処法	14	15	12	8	49
2 産後うつや育児不安への対処法①	4	4	4	4	16
3 産後うつや育児不安への対処法②	4	4	4	4	16
4 産後うつや育児不安への対処法③	1	1	1	1	4
5 産後うつや育児不安への対処法④	1	1	1	1	4
6 産後うつや育児不安への対処法⑤	1	1	1	1	4
7 産後うつや育児不安への対処法⑥	1	1	1	1	4
8 産後うつや育児不安への対処法⑦	1	1	1	1	4
9 産後うつや育児不安への対処法⑧	1	1	1	1	4
10 産後うつや育児不安への対処法⑨	1	1	1	1	4
11 産後うつや育児不安への対処法⑩	1	1	1	1	4
12 産後うつや育児不安への対処法⑪	1	1	1	1	4
13 産後うつや育児不安への対処法⑫	1	1	1	1	4
14 産後うつや育児不安への対処法⑬	1	1	1	1	4
15 産後うつや育児不安への対処法⑭	1	1	1	1	4
16 産後うつや育児不安への対処法⑮	1	1	1	1	4
17 産後うつや育児不安への対処法⑯	1	1	1	1	4
18 産後うつや育児不安への対処法⑰	1	1	1	1	4
19 産後うつや育児不安への対処法⑱	1	1	1	1	4
20 産後うつや育児不安への対処法⑲	1	1	1	1	4
21 産後うつや育児不安への対処法⑳	1	1	1	1	4
22 産後うつや育児不安への対処法㉑	1	1	1	1	4
23 産後うつや育児不安への対処法㉒	1	1	1	1	4
24 産後うつや育児不安への対処法㉓	1	1	1	1	4
25 産後うつや育児不安への対処法㉔	1	1	1	1	4
26 産後うつや育児不安への対処法㉕	1	1	1	1	4
27 産後うつや育児不安への対処法㉖	1	1	1	1	4
28 産後うつや育児不安への対処法㉗	1	1	1	1	4
29 産後うつや育児不安への対処法㉘	1	1	1	1	4
30 産後うつや育児不安への対処法㉙	1	1	1	1	4
31 産後うつや育児不安への対処法㉚	1	1	1	1	4
32 産後うつや育児不安への対処法㉛	1	1	1	1	4
33 産後うつや育児不安への対処法㉜	1	1	1	1	4
34 産後うつや育児不安への対処法㉝	1	1	1	1	4
35 産後うつや育児不安への対処法㉞	1	1	1	1	4
36 産後うつや育児不安への対処法㉟	1	1	1	1	4
37 産後うつや育児不安への対処法㊱	1	1	1	1	4
38 産後うつや育児不安への対処法㊲	1	1	1	1	4
39 産後うつや育児不安への対処法㊳	1	1	1	1	4
40 産後うつや育児不安への対処法㊴	1	1	1	1	4
41 産後うつや育児不安への対処法㊵	1	1	1	1	4
42 産後うつや育児不安への対処法㊶	1	1	1	1	4
43 産後うつや育児不安への対処法㊷	1	1	1	1	4
44 産後うつや育児不安への対処法㊸	1	1	1	1	4
45 産後うつや育児不安への対処法㊹	1	1	1	1	4
46 産後うつや育児不安への対処法㊺	1	1	1	1	4
47 産後うつや育児不安への対処法㊻	1	1	1	1	4
48 産後うつや育児不安への対処法㊼	1	1	1	1	4
49 産後うつや育児不安への対処法㊽	1	1	1	1	4
50 産後うつや育児不安への対処法㊾	1	1	1	1	4
51 産後うつや育児不安への対処法㊿	1	1	1	1	4

講座内容の希望の中では「リトミック・手遊びなどの音楽活動あそび」「絵画・園子づくり等」が複数しており、「工作や遊戯などの造形あそび」「歌謡などの運動あそび」「その他あそび」がこれに続いており、これは2016年度までの5年間の集計と同様であり(表8)20181、園地を園して子どもとの関係性をより深いものにする事や、毎日子どもに提供出来るあそびをより深いものすることに対する保護者の興味関心は依然として高いと考えられる。

3. 子育て支援について
 3.1 相談件数の推移は表8の通りである。

表8 相談件数の推移

年度	2015	2016	2017	2018
相談件数	68	68	57	62

2018年度は増加して多いが、全体としては減額傾向に転じて減額減少してきている。ただし、ここでも取り上げられている子育て相談については、

利用者と寄り添いながら開き取る形式で行っていることもあり、メディアと利用者の関係によって授業形態、内容等も変化することが考えられる。副読本内については 2016 年度には目標項目を整理したため、内容は 2015 年度、前 10 に 2016 年度から 2018 年度の内容をぶらさ。

表9 子育て支援の内容 (2015年度)

目標項目	2015	合計
社会性・道徳性・読解力の向上について	14	14
読解力の発達、読書力について	7	7
読解力向上について	5	5
読書習慣の形成について	20	8
自分に合った読書活動について	2	2
読書習慣の向上について	4	4
読書・まよふたの読書について	4	4
読書習慣について	1	1
個人読書について	2	2
読書活動の展開について	1	1
読書の数	27	27
合計	87	87

表10 子育て支援の内容 (2016～2018年度)

目標項目	2016	2017	2018	合計
社会性・道徳性・読解力の向上について	16	5	7	28
読解力の発達、読書力について	26	6	2	34
読解力向上について 読解力向上資料	10	5	7	22
読解力向上について 読書習慣の形成	5	2	6	13
自分に合った読書活動について	10	6	7	23
読書習慣の向上について (読書・まよふたの読書)	10	6	6	22
読書習慣について	10	6	7	23
個人読書について	4	6	1	11
読書活動の展開について	17	10	6	33
読書の数について (読書・まよふたの読書)	6	6	1	13
読書・まよふたの読書 (読書・まよふたの読書) 読書・まよふたの読書	10	6	7	23
読書の数	6	6	7	19
合計	124	72	70	266

Ⅲ. 子育て支援の現状

1. 子育て支援運営の背景

2008 年に保育所保育指針が改訂され、保護者支援に関する内容が明確化された。それによらない、保育士養成課程の科目も見直され、2011 年から「保育相談支援」や「子育て支援」のように子育てに關する教科目が新しく設けられた。また、2015 年には、4 年度目の保育士養成指針の改訂が行われ、地域との連携強化と連携しをがら、子育て家庭の多様性をめぐりに対応することが保育者に求められ、保育士が行う子育て支援の役割の重要性がさらに強調されている。このように、保育士が行う子育て支援への関与は高まる一方でであり、当然、保育士養成校に於いても、子育て支援の役割である保育士養成を進める声が強くなってきている。こうした背景の中で、学生が将来的に子育て支援の現場やその必要性を理解するためにも、学生時代に子育て支援に積極的に関わる学びの場を提供することは重要であろう。

本学では、上述したように、久留米市からの依頼を受け、2008 年からの子どもに読書推進として「読書つどいの広場」を展開している。その「読書つどいの広場」で、学生がどのように子育て支援に参画しているのかについて報告する。

2. 子育て支援運営の目的

子育て支援を学ぶ目的は、親由「保育制親友会」という科目の中で行っている。保育士資格を取得する学生の必修科目であり、2 年生の後半に開講される。2 年生の後半までに、保育士資格取得のために必要な保育実習を終えておくための、実習の中で子どもとの関わりが中心である。保護者とかかわる機会はいくんどないのが現状である。しかし、早退して保育者としての第一歩を踏み出すに当たり、保護者との関わりに不安を感じ学生は少なくない。そこで、支援の現場に主体的に関わることで、保護者との関わりに対して動く源泉とした学生の不安を軽減し、より具体的に保護者を支え、子育てを支援することの意義を考えるきっかけとなることをねらいとしている。

3. 予習で支那演習の内容

「習俗と語法文法」を受講した学生は、4～5名のグループに別を分けられる。そして、本講義の教子を対象とした30分の親子遊びプログラムを考える課題にグループで取り組む。授業時間の中で予習で支那の考え方や、親子遊びプログラムを考える際の留意点等について学ぶ。その後、親子遊びプログラムの企画案を考え、親子遊びプログラムを企画し、活動計画（指導案）を書いていく。

なお「こどいの広場」で実際に親子遊びプログラムを実施するのは、授業後の時間に行っている。そのため「こどいの広場」の活動時間は学生の授業の空き時間との調整が必要であり、2018年度は活動計画（指導案）を提出した全13グループの内、8グループを認定し、認定されたグループの学生が実際に親子遊びプログラムの演習課題に取り組むことができた。一方、活動計画（指導案）が提出できなかったグループの学生は、個人で「こどいの広場」に行き、

1週以上の親子と関わる課題が用意されている。

指導計画が算出されたグループの活動内容は表11に示す通りである。最初の3回は、土曜と日曜の両日に実施しているが、これは、任意型（大学型）の課題に伴い「こどいの広場」も暫時に閉鎖しあらためである。通常は平日の「こどいの広場」開校時間の中で実施している。

親子遊びプログラムは、全例し準備をしてきた学生達を中心に、担任担当教員と「こどいの広場」に配属する2名のスタッフのサポートも得ながら進行していく。事前を協議ではないため、当日まで参加する親子の人数や年齢が分からないこともあり、親子への配慮の声かけや配慮等は、学生が自発的に気づき動くことにより実現し、教員や「こどいの広場」スタッフが学生に助言を求したり、実際の支援を行うなどしているのが現状である。

そして、親子遊びプログラムを終えた学生は、グループメンバーと担任担当教員と共に

表11 2018年度に「こどいの広場」で実施した親子遊びプログラムの活動内容

回	実施日	活動タイトル	主な内容
1	11月30日(土)	「Let's 音楽家」	・「アニーソンの音楽劇」のレクイエムショー ・「おひげ音楽家」の曲を歌ったり、演奏 等
2	11月30日(土)	「アンパンマン かくかくし大冒険」	・アンパンマンの準備中や準備中セットプレイ ・キャラクターの動きを通して親子のキャラクター活動 等
3	11月31日(日)	「歌ってあそび！ 一休の夜更け」	・「もしも国の物語」のキャラクター ・衣装を着てあそび、お茶会、紙の森一休の制作 等
4	11月27日(木)	「オアシスオアシスお茶会」	・オアシスの手遊び ・お人形で遊ぶオアシスオアシスの紙芝居制作 等
5	12月11日(木)	「親子で手紙の季節制作」	・クリスマスカードの制作 ・オアシスオアシスお茶会にて、お茶会した親子手紙 等
6	12月17日(木)	「おひげ音楽家のレクイエムショー」	・キャラクターのレクイエムショー ・劇セットを使った劇内での演奏 等
7	1月 8日(木)	「おひげ音楽家のレクイエムショー」	・劇中の歌の練習や「おひげ音楽家」のレクイエム ・おひげ音楽家のレクイエムを歌った親子手紙の制作 等
8	1月19日(木)	「おひげ音楽家のレクイエムショー」	・おひげ音楽家のレクイエムを歌った親子手紙の制作 等
9	1月26日(木)	「親子で手紙の季節制作」 「おひげ音楽家のレクイエムショー」	・劇中の歌の練習やレクイエム ・親子の手紙を歌ったおひげ音楽家の制作 等

民営会を連携し、活動を振り返り、道徳にまつおのレポートを書くことで、自身の課題を認識していく。

学生が子育て支援の展開に主体的に関わり、親子と関わり合う時間を身につけることで学生の子育て支援力の育成に多岐をとりとる視座を持っているが、課題と学生が何を学び、どのような力が育っているのかについては、今後詳しく検討していく必要がある。

四、まとめ

久留米市においては、「くもみ子ども支援プラン」〔久留米市子ども・子育て支援事業計画〕に基づき、2015年度から地域の保育ニーズを把握し、その対応策として、保育所の定員数、幼稚園の認定こども園への移行などの施設整備を進めてきた。その結果、まほ、幼稚園定数はいままものの数で済ませながらも認定こども園の幼稚園の利用率は増加している。その結果、平日の日中の早い幼稚園事業への利用率は減少傾向にある。しかしながら、長時間や児童虐待の数は上昇しており、その要因として、母親の孤立感、就業機会に乏しい子育てについての相談相手がないことなどが要因として挙げられる。

そのような状況の中で、地域の中で子育てを支援する人材が育望されている。本学で行う『くもみ』の応募事業は、学内の施設を有効活用しているため、開設期間等の制約があることは認めないが、今後もこの事業を続けていくことが地域社会から求められている状況にある。また、保育事業施設としても、卒業後、保育者として幼稚園の家庭への子育て支援や地域の子どもがいる家庭への子育て支援を行うための学生の学びとして、在学中に子育て中の親子と接することは、幼稚園や保育所での教育でも代替できない貴重な場面である。

今後は、地域の子育て支援事業と教育者養成という二つの観点から、『くもみ』の支援の事業をより発展が上がる事業にすることができるよう、実際の活動内容・方法にておを改めていくことが課題である。

参考文献

久留米市「くもみ子ども・子育てプラン」〔久留米市の大次郎育成支援計画〕、久留米市(2015) 久留米市「くもみ子どもの支援プラン」〔久留米市子ども・子育て支援事業計画〕、久留米市(2015)

藤田忠志・藤田エドナ「保育者養成校における子育て支援事業の取組について」久留米大学女子短期大学研究紀要第 22 号(41-48) 2009 藤田エドナ・藤田可奈子・藤田忠志「保育者養成校における子育て支援事業の取組と学生への教育的効果」久留米大学女子短期大学研究紀要第 24 号(117-124) 2011

藤田忠志「地域子育て支援事業『くもみ』の展開、その背景と課題」久留米大学女子短期大学研究紀要第 29 号(45-58) 2016

(2016年5月29日受稿)